データ抽出：医療情報
コメント作成：小児科

低出生体重児救命率

目的

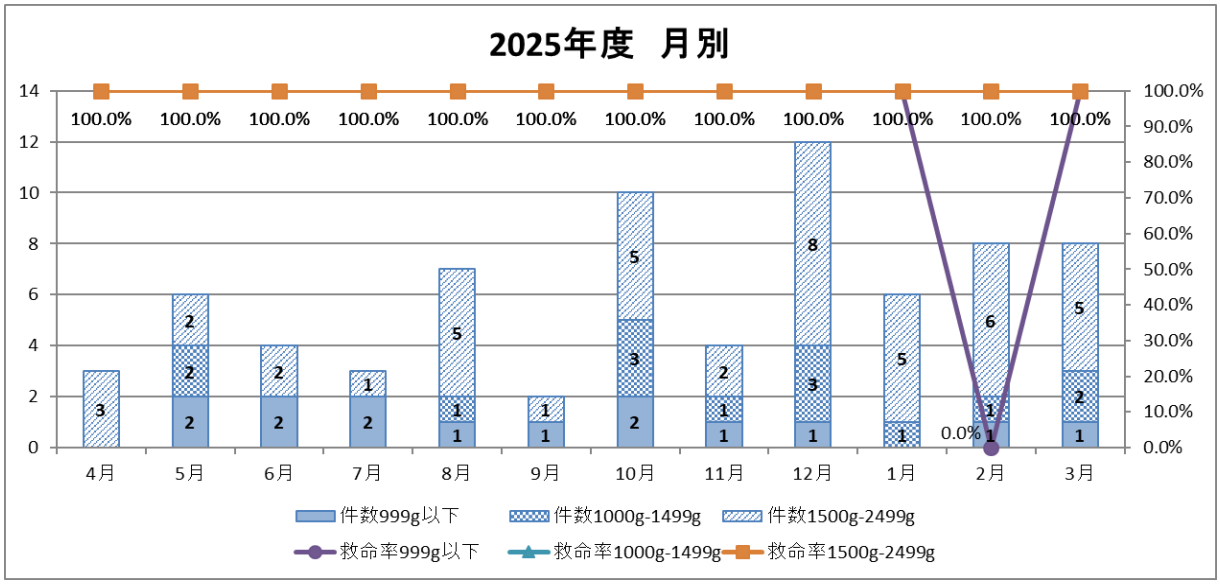
診療の質観測

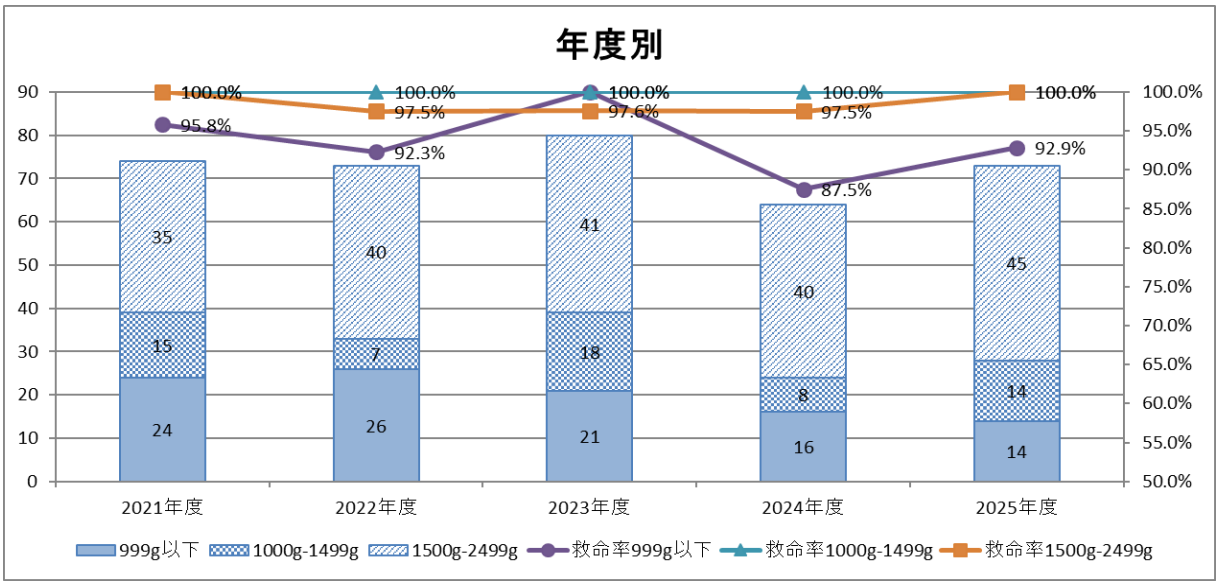
分母

出生体重が2500g未満の患児

分子

分母のうち転帰が死亡以外の患児





データ抽出内容

医療情報DBから抽出
※低出生体重児2500g未満ICDコード…P07.0、P07.1a、P07.1b

データ分析コメント

2025年度に出生体重2500g未満で生まれた低出生体重児の入院数は昨年度より増えています。日本の出生数が減少しているにも関わらず低出生体重児の入院数が増加した要因は、2025年度からNICUを増床したことと関連があると考えています。出生体重1000g以上の低出生体重児の救命率は100%で、昨年と同様に高い水準を維持しています。999g未満の低出生体重児の救命率も、昨年度より上昇しています。亡くなった1名のお子さんは極めて未熟性が高く、新生児の蘇生治療に反応しなかったことから、救命そのものが困難であった可能性があります。引き続き、湘南・西湘地区の総合周産期母子医療センターとしての責務を果たすことが出来るよう、スタッフ一同、新生児とそのご家族の幸せのために尽力していきたいと考えています。